

臨床研究「リンパ管腫に対する漢方療法の有用性の研究」について

筑波大学附属病院小児外科では、標題の臨床研究を実施しております。

本研究の概要は以下のとおりです。

① 研究の目的

リンパ管腫の治療法としては、経過観察、OK-432(ピシバニール)の局注や切除術が主体でしたが、当科では、2014年から漢方療法を導入しています。実際の診療の場で行なわれている、最近の治療法の動向を知り、漢方療法の有用性を明らかにする事を目的とした。そこで、リンパ管腫の第一選択の治療法として、越婢加朮湯を用いた場合の治療効果に絞って検討する事を目的としました。漢方療法の有用性が明らかになれば、侵襲の少ない治療法の選択肢が増える事になる考えます。

② 研究対象者

当科開設以来、当科でリンパ管腫として治療を受けた患者さんで、治療効果に関して本研究で解析する項目が診療録に記載されている患者さんを対象とします。年齢は問いません。

③ 研究期間：倫理審査委員会承認後～2022年10月31日まで

④ 研究の方法

診療録を用いた後方視的方法で行います。

⑤ 試料・情報の項目

診療記録等から以下の項目を検索します。

Demographic data: 発症年齢、性別、原発部位、腫瘍の性状、痛みの合併の有無、炎症を伴った場合の発赤の有無など

First line で選択された治療法

治療法別の効果判定

- ・リンパ管腫サイズの比較：診療録記載によって縮小の有無を確認し、縮小の記載があれば効果が認められると判断する。
画像評価があればサイズを比較する。
- ・縮小までの期間の比較
- ・治療法別の合併症の有無の確認
- ・漢方療法の効果：腫れによる痛みや炎症を伴った場合、痛みや発赤の消退を確認する。

⑥ 試料・情報の管理について責任を有する者

研究責任者名：新開統子

所属：小児外科

役職：講師

⑦ 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族（が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停止を希望

される場合は、下記の間い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

⑧ 間い合わせ連絡先

筑波大学附属病院：〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

所属・担当者名：小児外科 担当：新開統子

電話：029-853-3094

対応可能時間：平日9～17時